



神奈川県立

高P連会報

事務局 横浜市神奈川区神之木台22番14号
県青少年課神之木台分館内
TEL 045-432-5889
FAX 045-432-5891
E-mail kana.koupren@kanagawa-koupren.org
編集・発行 神奈川県立高等学校PTA連合会
調査・広報委員会

創立60周年記念
第46回高P連県大会 2008.11.27
「学び、行動するPTA」
パシフィコ横浜

神奈川県立高P連創立60周年記念でもある今回の大会は、今年度重点目標の一つである「学び、行動するPTA」を中心に、この大会を期に「積極的に親も学び、行動する」「親や保護者はどうあるべきか」を考へる良いきっかけになる事を願ひ、千名余のPTA会員が一堂に会し、11月27日パシフィコ横浜会議センターで開催しました。



安全振興会理事長 櫻井智定様
校長会会長 堀 英雄様
県教育委員会教育局長 笠原達夫様

今年度は、午前の部で県高P連活動に貢献された関係者に対する表彰、各地区から選ばれた3校のPTAによる発表。昼食をはさんで午後



育成「親子の規範意識の持ち方」「理想となるPTA」「家族のコミュニケーション」

の大切さ」を学べた有意義な大会となりました。

主催者、岸千明会長のあいさつ、来賓として、県教育委員会教育局長・笠原達夫様、校長会会長・堀英雄様、及び安全振興会理事長・櫻井智定様から、それぞれ「あいさつをいただきました。表彰式では、昨年度まで県高P連で役員及び理事として

ご尽力いただいた方々に県教育長、県高P連会長から感謝状が贈呈されました。また、県立高校の耐震化対策について、まなびや計画推進室長代理・座間美和様から説明がありました。

研究発表
新羽高校PTA
高校生の「食」について考える

豊かな時代に育った子供たちに、戦中戦後の食料難の時代を知ってもらおうとの強い思いから、当時食べていた「すいとん」(中身の具材は良い物になつている)を文化祭で出店したり、ヘルスマイト(食生活改善推進員)さんを迎え、食事(とくに朝食)の大事さや健康についてなど、子供たちに正しい知識を伝える活動が報告されました。

「未来の親との対話」
親との関係と親のあり方を考える

講演
「天使の言葉」
生きた言葉をつかい

講演は、元NHKアナウンサー・広瀬久美子さんから「天使の言葉」生きた言葉をつかいてと題してお話していただきました。

講演
「生きた言葉をつかい」

講演
「生きた言葉をつかい」

講演
「生きた言葉をつかい」

講演
「生きた言葉をつかい」

高P連 関東大会が横浜で開かれます。

第56回関東地区高等学校PTA連合会大会神奈川大会が来年、横浜で開催されます。県高P連では、より充実した大会と成るよう昨年に準備委員会を立ち上げ、10月14日に第1回を、12月16日には第2回準備委員会を開催しました。準備委員会では、大会日程、会場、予算、来年度に発足する実行委員会の組織と役割分担などの検討を進め、今年に入り2月17日には、第3回準備委員会を開き、次年度実行委員会にスムーズな橋渡しができるように、様々な観点から鋭意検討を進めているところです。

また、関東高P連大会が本県で開催されることから、各单位PTAの皆様、地区協議会の皆様には絶大なご支援・ご協力を賜りたいと存じます。特に、大会参加につきましては、各学校PTAから15~20名程度の参加要請をお願いしたいと考えています。皆様のご支援・ご協力を得まして、大会を有意義に開催したいと存じますのでご理解ご協力のほどをお願いいたします。

開催日程 平成22年
7月8日(木) 全体会
パシフィコ横浜 国立大ホール
7月9日(金) 分科会
パシフィコ横浜、他の公共施設

世界に飛翔県立高校の卒業生

2008年の北京オリンピックに出場し世界を相手に活躍した、神奈川県立高校の卒業生を一部紹介します。

【女子ソフトボール】金メダル獲得
みごとに金メダルを取った女子ソフトボール。決勝でホームランを放った主将の「山田 恵里」選手・同じく決勝でフェンス直撃の二塁打を放った「三科 真澄」選手・オーストリア戦で決勝打を放った「西山 麗」選手。この三選手は県立厚木商業高校の卒業生たちです。

【女子サッカー】ベスト4進出
惜しくもメダルには届かなかったが初のベスト4まで進んだ『なでしこジャパン』の女子サッカー。開催地の中国戦でゴールを奪い活躍された、「永里 優季」選手は県立厚木東高校の卒業生です。

写真は、情報提供...県立厚木商業高校、県立厚木東高校

会長のつぶやき

六月の総会で会員の皆様に、ご承認頂き会長職に就き、はや半年。理事を一年間務めただけで職に就き、右も左も分からない中、副会長をはじめ、優秀なスタッフに恵まれ、本部、理事、事務局、校長会、県教委と一体となり、学び、行動するPTAを合言葉に前進してまいりました。

半年前には、考えてもいなかった超過密なスケジュール。全国PTA連合会の理事にもなり、多い月には約半分がPTA関連の出席になりました。ただ、この職に就かないとお会いできない方々、たとえば小淵優子大臣、松沢県知事、山本県教育長等々とお会いし、お話が出来る機会に恵まれました。役得でしょうか？少し得をした気持ちでおります。

平成22年7月には、第56回関東地区高等学校PTA連合会大会が神奈川県で開催されます。関東地区6県より約5千人が来場される予定です。10月に準備委員会を立ち上げ、本番の準備に入るところです。会員皆様方のお力添えなくして開催は立ち行きません。

関東大会の成功に向けて会員皆様方の一層のお力添えよろしく申し上げます。

また、脳科学者の茂木健一郎氏は「どんなに顔が悪く、頭が悪く、金がなく、性格が多少悪くても、自分の弱点や欠点を人前でユーモアを持って語れる人間になること、そういう人間は魅力的である、お笑い芸人を見てみるとよい。自分の欠点や弱点をネタにして笑いに変えてしまおう。」と言っています。

要するに自分を良く見つける、楽観的な思考と、ユーモアでいい人間関係を自分の周りに築いていくことで「なぜだか、いつも何となく幸せ」でいられるのです。あなたもさっそく自分をよく見つけ直してみたいかがですか。

気象台

苦しい時こそ、いい人間関係を築こう

今、世界中を覆っている金融危機の影響が日本でも深刻化し、景気の後退が私たちの生活にも重くのしかかってきています。

こんな時だからこそいい人間関係を築き、人に好かれる人、何となく人が周りに集まってくる人になりませんか？「脳にいいこと」だけをやりなさいの著者マーシー・シャイモフ氏は、「いい人間関係を築くためには、自分を良く見つけて、ありのままに受け入れられることである。自分がどういう人間であるかを受け入れられる人は、必ず「なぜだか判らないけど、いつも幸せ」になることができる。」と言っています。

また、脳科学者の茂木健一郎氏は「どんなに顔が悪く、頭が悪く、金がなく、性格が多少悪くても、自分の弱点や欠点を人前でユーモアを持って語れる人間になること、そういう人間は魅力的である、お笑い芸人を見てみるとよい。自分の欠点や弱点をネタにして笑いに変えてしまおう。」と言っています。

金賞



(左より)
 県立高等学校長会賞
 横須賀高等学校PTA
 神奈川新聞社賞
 小田原高等学校PTA
 県教育委員会教育長賞
 大船高等学校PTA
 県立高等学校PTA連合会賞
 神奈川総合高等学校PTA

銀賞



(左より)
 県立高等学校PTA連合会賞
 松陽高等学校PTA
 県立高等学校長会賞
 海老名高等学校PTA
 神奈川新聞社賞
 希望ヶ丘高等学校PTA
 (財)県立高等学校安全振興会賞
 多摩高等学校PTA

銅賞・特別賞



(上段左二人目より)
 県立高等学校PTA連合会賞
 百合丘高等学校PTA
 厚木清南高等学校PTA
 秦野高等学校PTA
 (下段左より)
 横浜桜陽高等学校PTA
 鶴嶺高等学校PTA
 市ヶ尾高等学校PTA
 光陵高等学校PTA
 (上段左)
 特別賞(表紙)
 (財)県立高等学校安全振興会賞
 横須賀高等学校PTA

第32回 平成20年度 PTA 広報紙 コンクール

平成21年1月23日午後2時より、横浜県民センター2階ホールにて
 平成20年度 第32回 広報紙コンクール表彰式・講演会が開催されました。

1月13日に、高P連 岸会長・県教委・校長会・安全振興会、そして神奈川新聞社 矢野様を審査委員長に厳正な審査の下、応募総数99の中から金賞4校、銀賞4校、銅賞7校、特別賞(安全振興会賞)1校の16校が選出されました。

今年も昨年同様、受賞校に受賞の連絡だけを行い、どの賞を受賞したかは表彰式で発表されました。どの受賞校の皆さんも、入場されてすぐは緊張した面持ちでしたが、表彰式では笑顔がこぼれていました。最優秀賞は、大船高校PTA『青船』2年連続での最優秀賞受賞となりました。おめでとうございます。

来年度も、多数のご応募をお待ちしております。

表彰式後『PTAと広報紙』という演題で、雑誌「anan」元編集長・富川淳子さんの講演が行われました。富川さんが携わった雑誌の編集と、私たちPTAが作る広報紙をてらし合わせながら、わかりやすい紙面の作り方、読み手が興味を持つ記事の作り方などを伝授して下さいました。取材の方法など、私たちPTAの参加も交えて、楽しい中にも大変勉強になる話が盛りだくさん! 80分の講演時間があっという間に過ぎてしまいました。

最後に、(財)神奈川県立高等学校安全振興会作文コンクール特選作品の県立中央農業高校、餘目(あまるめ)直矢さんの『サツマイモで解決!! 世界の食糧問題』。県立神奈川総合高校、鈴木 唯さんの『表現のすゝめ』の2作品を本人の朗読で紹介していただきました。(詳細は当会報4面) 高校生の素晴らしい作品に、盛大な拍手の中で閉会となりました。



講師 富川淳子さん

最後に、(財)神奈川県立高等学校安全振興会作文コンクール特選作品の県立中央農業高校、餘目(あまるめ)直矢さんの『サツマイモで解決!! 世界の食糧問題』。県立神奈川総合高校、鈴木 唯さんの『表現のすゝめ』の2作品を本人の朗読で紹介していただきました。(詳細は当会報4面) 高校生の素晴らしい作品に、盛大な拍手の中で閉会となりました。

講評

神奈川新聞 矢野 真里

審査は、PTA活動の主体性とその表現、企画力、編集・レイアウトなどを基準に、加点する形でを行いました。どれもよく工夫され、広報委員の努力が感じられるだけに、点をつけるのは悩ましいものです。

そんな中で差がつくのは、やはり企画の良さです。最優秀賞の大船高校は特集が光りました。18歳は大人なのか? という企画で、生徒・大人へのアンケートやその分析、専門家の意見と多角的に展開し、読み応えのある内容でした。ほかのページにも読みどころがあり、また写真を含め全体の見せ方も申し分ないものでした。

PTA活動そのものをテーマにした特集が面白かった小田原高校、100周年特集を盛りだくさんの企画で組んだ横須賀高校、きめ細かな取材で丁寧に紙面作りをした神奈川総合高校が金賞に選ばれました。

ほかにも身近な課題に迫った企画もの、レイアウトや写真が素晴らしいもの、見栄えは地味でも熱心が伝わってくるものなど、それぞれにいいところがありました。まず、ご自分が読者になったつもりで、「読みやすさ、分かりやすさ」を第一に、取り組んでいただきたいと思います。

平成20年度 高P連 交通安全大会

交通安全は生命の尊重から



本年度も県下10地区に於いて、交通安全大会が開催されました。今年9地区が生徒達との合同開催となりました。関係各位のご尽力に感謝申し上げます。

改正道路交通法が6月1日よりスタートし、自転車の通行ルールも変わり、今年度の交通安全大会は、自転車等や命についての発表の場となりました。また、パネルディスカッション、生徒とPTAの討論会など意識と問題点を共有でき、より良い成果でありました。

今年度の目標の生命尊重の理念に合った交通安全教育運動の推進に沿った素晴らしい大会でした。21年2月7日(土)に横浜市教育会館で実施された健全育成大会は大いに盛り上がりました。

(健全育成・Y)

平成20年度 高P連 地区大会

「学び、行動するPTA」を実現するために



地区大会は県高P連活動の重点目標のひとつである「学び、行動するPTA」を実現するために、各地区会員の研修の場として大変重要な役割を担っております。今年度も県下10地区と1専門部会において地区大会を盛大に開催することができました。各地区における関係者の皆さまのご尽力に感謝いたします。

各地区とも概ね講演と研究発表という構成でした。講演では「携帯電話やインターネットにまつわる諸問題」から「栄養に関するもの」、「思春期の子どもたちの話」、「親子のコミュニケーションの話」、「元有名プロ野球選手の話」など内容は多岐にわたりました。

講演の後にミニコンサートが開催された地区もあり参加者の好評を得たようです。

研究発表ではそれぞれのPTAにより、われ、発表の内容のみならず技術面の向上がうかがわれます。

どの地区の大会も大変実りあるものであったと思います。地区会員の皆さまには今後のPTA活動に是非役立っていただきますようお願いいたします。

(研修委員)

編集後記

● 単位PTAでもやったことなかつた広報紙作り、なかなか面白かつたです。サポートしてくださった先輩方、ありがとうございました。(T・W)

● 広報紙を作成するのが、こんなにも大変なのかと...。苦しいながらも楽しい年でした。(J・I)

● 何もわからず苦労しましたが、貴重な経験ができました。ありがとうございました。(K・K)

● 広報担当となつて、委員の皆さんにささえられながらの、あつという間の一年間。紙面もリニューアルできました。私もリニューアルしなければ...。(T・M)

● 広報紙は皆さんに見てもらつて初めて広報紙になります。だから皆さん、ミラネ!

(H・M)

高P連にもホームページがあるんですよ! 各地区の情報や高P連のことがよくわかります。どうぞ、のぞいてみて下さい。

高P連ってなに? どんな組織なの? 相談窓口もあります! 年度行事やイベントの情報

http://www.kanagawa-koupren.org

神奈川県立 金沢総合高等学校

総合学科高校として、平成16年に開校
キャリア教育の重要性を実感

第58回
全国大会
(愛知大会)
発表校

本校は、富岡高校と東金沢高校との統合により総合学科高校として、平成16年に開校しました。総合学科として百数十科目の多様な選択科目があり、科目の学習を通じて進路を決めていく生徒も多いようです。

金沢総合高校
PTA会長
大山 亮一

してまた社会の先輩としての役割が強いこと。親子で話し合い、コミュニケーションをとること。このことを親として実践することが、これからの時代を背負っていく子ども達にあきらめずに挑戦する強さ、素直さを持って自分の夢と自己の実現をはたすために必要と思

います。さて、本校では開校時より生徒・保護者を対象とした大学・各種専門学校への見学会を企画しておりました。昨年度はこの見学会をもとに生徒達が進路に対する考えを強く持つ



最後に、神奈川県代表として全国大会での発表の場所を提供くださった皆さんに厚く御礼申し上げます。

ことができるよう、親の意識を高めるためのキャリア教育についての勉強会(進路説明会・保護者セミナー)をPTAとして開催しました。また一方で生徒が進路や将来についてどのように考えているかアンケートも行いました。



今回、キャリア教育について親としてとても多くのことを学びました。親と

神奈川県立 川崎高等学校

全国でも初めて
単位制普通科
フレキシブルスクール

第54回
関東大会
(茨城大会)
発表校

平成20年7月4日～5日に茨城県つくば市で開催された第54回関東地区高等学校PTA連合会大会に参加し、二日目のつくば国際会議場で行われた第2分科会「進路指導とPTA」において、「全定一体のPTA活動における進路実現の取り組み」というテ

川崎高校
PTA会長
遊佐 春美

当日の発表では、学校の概要と本校のPTA組織について説明した後に、生徒の進路指導における学校と保護者の連携の大切さについて本校の実践例をあげながら述べさせていただきました。

ーマで本校PTAの活動について発表させていただきました。



本校は、全国でも初めてといわれる全日制と定時制を一体にした教育活動を行っている単位制普通科フレキシブルスクールです。PTA活動も平成16年の新校再編以来、全定一体の組織として活動しています。



全定の多様な生徒のふれあいを

通して、人間的に大きく成長していく生徒たち一人ひとりに最もふさわしい進路を決定するためには、人生の先輩である保護者の役割とPTAの組織的な取り組みが重要なことを、分科会参加者との質疑応答や助言者からのアドバイスを通して改めて痛感しました。

お知らせ・神奈川県教育委員会からのお知らせ・神奈川県教育委員会からのお知らせ・神奈川県教育委員会からのお知らせ・神奈川県教育委員会からのお知らせ

高校生ボランティアセンター
新規スタッフ募集

県教育委員会では、平成18年度より生涯学習情報センターの一部に高校生ボランティアセンターを設置し、高校生のボランティア活動の支援を進めています。

平成20年度は、県内の高校から応募したスタッフ75名が、環境・国際・青少年・福祉の4分野のグループに分かれ、高校生が参加するボランティア企画をそれぞれ計画・実施することにより、多くの高校生が参加しました。

高校生ボランティアセンターでは
■平成20年度 高校生ボランティア活動発表会の参加者募集

(日時:3/15(日)14:00～16:15
会場:かながわ県民センター5階
申込締切:3/4)

■平成21年度 新規スタッフ募集

(募集人数:継続スタッフ含め60名程度 応募締切:4/27)を行います。詳しくはホームページをご覧ください。

高校生ボランティアセンターホームページ

http://www.planet.pref.kanagawa.jp/k_vol/k_vol_top.htm

● 問い合わせ/県生涯学習情報センター
電話 045 (312) 1121
内線 2506

携帯電話サイト
「かながわモード」開設!
～安全・安心な使用のために～

子どもたちの携帯電話の利用が急速に拡大する中で、安全・安心な利用のために、県では、携帯電話サイト「かながわモード」を開設しました。

「かながわモード」には、携帯電話の安全・安心な使用について、保護者とお子さんが一緒に学習できる資料やトラブルへの対処法・相談先などが、携帯電話の画面から見やすくまとめられています。ぜひご利用ください。

※利用には通信料(パケット代)がかかります。

詳しくは右の2次元コードから読み取るか、アドレス
http://www.pref.kanagawa.jp/i/40/4012/02/index.html
を直接入力してください。

ファミリー・コミュニケーション
運動 推進中!

相手を思いやり大切にできる子どもを育てるため、家族の会話を深めてもらえるような環境づくりを進めています。

毎月第1日曜日は「ファミリー・コミュニケーションの日」。優待券を利用して、家族で一緒に過ごす一日を楽しみませんか。

優待施設等の詳細は県のホームページをご覧ください。

ファミリー・コミュニケーション運動 検索

● 問い合わせ/児童生徒指導室
電話 045 (210) 8295

かながわ
部活ドリームプラン21
の推進!

県教育委員会では、かながわ教育ビジョンの「教育目標(めざすべき人間像)」である「思いやる力」、「たくましく生きる力」、そして、「社会とかかわる力」を育むことを目指した取り組みである「かながわ部活ドリームプラン21」を推進しています。

子どもたちに部活動への参加を推奨し、部活動を楽しんだり、競技力・表現力を高めたりしながら多くの仲間と友情を深め、切磋琢磨しながら互いに人間力を磨いて欲しいと考えています。

保護者のみなさまで、高校生の頃、部活動に参加し、仲間と楽しく過ごした事や切磋琢磨しながら技能を高めたりした事など、今でも忘れることのできない、心に残る思い出をお持ちの方も多いと思います。

部活動に対する考え方は多様化してきましたが、時代を越えて、部活動による教育効果は今まで以上に期待されているところです。

ご家庭においても部活動に取組む我が子だけでなく、同じ部の仲間、共に競い合うライバル等多くの子どものご支援をお願いします。

● 問い合わせ/保健体育課
電話 045(210)8312

第19回全国産業教育フェア
神奈川大会が開催されます

平成21年11月14日(土)～15日(日)の2日間、パシフィコ横浜をメイン会場に「第19回全国産業教育フェア神奈川大会」が開催されます。

「全国産業教育フェア」とは、全国の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉等の専門学科高校や総合学科高校等で学ぶ高校生が神奈川に集い、日ごろの産業(専門)教育の成果について発表・展示・競技会等を行う祭典です。

【開催内容】

全国及び県内の高校や特別支援学校等の生徒による作品展示、研究発表、生産物販売や記念講演が行われます。

さらに、都道府県の予選を勝ち抜いた高校生による全国大会として、農業ではフラワーアレンジメントコンテスト、工業ではロボット競技、ものづくりコンテストが開催されます。

また、県内の中学生のロボット大会・職場体験発表会や電気自動車展示も行われます。

【会場】

パシフィコ横浜、横浜文化体育館、横浜港、JICA横浜、関東学院大学、県立東部総合職業技術校、日産横浜自動車大学校等、詳しくは、第19回全国産業教育フェア神奈川大会のホームページをご覧ください。

http://sanfair.jp

● 問い合わせ/高校教育課
電話 045 (210) 8276

今春、新しいタイプの
高校4校が開校

県立高校改革推進計画後期実施計画に基づき、平成21年4月に新しいタイプの高校4校が開校します。

【横浜栄高校(横浜市栄区)】
「確かな学力」の充実により、幅広い分野の進路希望に対応

【平塚湘風高校(平塚市)】
体験的な学習を重視した、特色ある教育活動を展開

【湘南高校(定時制)単位制普通科(藤沢市)】

多様な学習ニーズへの対応と、豊かな社会生活を営む力を育成

【座間総合高校(座間市)】
国際的な教養を持ち、国際社会の諸課題に向き合える人材を育成
また、後期実施計画を推進する中で新たな対応が求められている課題に対して、平成21年度から次の取組みを実施します。

【クリエイティブスクール】

田奈高校、釜利谷高校、大楠高校
【連携型中高一貫教育】
愛川高校-愛川町立3中学校、
光陵高校-横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校

詳しくは、県のホームページをご覧ください。

http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kokokyoiku/kenritu/syorai/syorai/menu.htm

● 問合せ/高校教育企画室
電話 045 (210) 8090